

# 忘れていた予防接種はありませんか？



3月1日～3月7日は「子ども予防接種週間」です。

## ＜ 定期予防接種 ＞

ワクチン	対象者	回数
Hib感染症	2か月～5歳未満	4回※1
小児肺炎球菌	2か月～5歳未満	4回※1
B型肝炎	生後1歳未満	3回
4種混合ワクチン	生後3か月～7歳6か月未満	4回
2種混合ワクチン (DT)	11歳～13歳未満	1回※2
BCG (結核)	生後1歳未満	1回
MR (麻疹・風しん)	1期：1歳～2歳未満 2期：5歳～7歳未満	1期：1回 2期：1回※3
水痘	1歳～3歳未満	2回
日本脳炎	1期：6か月～7歳6か月未満 (標準接種は3歳～) 2期：9歳～13歳未満	1期：3回※4 2期：1回※5
HPV感染症	小学6年生～高校1年生の女子	3回※6

- ※1 接種開始時期によって、接種回数が異なります4
- ※2 11歳の誕生月の前月下旬頃に予診票をご自宅に送付いたします。
- ※3 令和2年度は平成26年4月2日～平成27年4月1日生まれの方が対象です。個別にご案内いたします。
- ※4 平成17年の積極的な勧奨の差し控えにより、接種の勧奨が控えられたお子さんに対する接種機会の確保として、特例で定期接種と認められている場合があります。詳しくは子育て健康課までお問い合わせください。
- ※5 9歳の誕生月の前月下旬頃に予診票をご自宅に送付いたします。
- ※6 現在、HPV感染症予防ワクチンの接種を積極的にはお勧めしていません。接種にあたっては、医師との相談、有効性とリスクを理解したうえで接種してください。接種希望の方は母子健康手帳を持参し子育て健康課窓口までお越しください。

定期予防接種の時期を過ぎてから接種すると、全額自己負担になります。

また定期予防接種以外に任意の予防接種があります。費用の助成が受けられるものもありますので、詳しくは子育て健康課までお問い合わせください。

特に4月に入園・入学するお子さんのいる保護者の方は、

母子健康手帳にて予防接種の確認をお願いいたします。

「何を接種したかわからない」、「接種の対象だけど予診票を持っていない」などのお問い合わせは、子育て健康課窓口までお越しください。その際母子健康手帳をご持参ください。ワクチンで防ぐことができる病気 (VPD: Vaccine Preventable Diseases) から子どもたちを守りましょう。

## 献血ご協力のお願い

「献血」とは、病気やけがで輸血や血液製剤などを必要とする患者さんのために自分の血液を自発的かつ無償で提供していただくことです。血液は人工的に造ることができず、長期間保存することもできません。そのため血液を必要としている患者さんにとって、安全性の高い血液を安定的にお届けするためには、健康な皆様による献血のご協力が必要です。

以下の日程でバス献血を行います。バス献血では、400ml 献血 (全血献血: 血液中の成分をすべて提供していただく方法) をご協力いただいています。

日時：3月23日 (月)  
9時30分～11時

場所：保健福祉センター

対象者：・年齢が18～69歳の方

※65歳以上の方は60～64歳の間に

献血経験のある方に限ります。

・体重が男女ともに50kg以上の方



献血者数は全国で減少しており、特に三重県では全国と比較して献血者数が少ない地域です。この機会に献血のご協力をよろしくお願ひいたします。

## 世界自閉症啓発デー

日本実行委員会〈公式サイト〉

毎年4月2日は、国連の定めた世界自閉症啓発デー



毎年  
4/2～4/8は、  
発達障害啓発週間

### 「世界自閉症啓発デー」とは

毎年4月2日は国連が定めた「世界自閉症啓発デー」です。全世界の人々に自閉症を理解してもらう取り組みが行われています。

わが国でも、世界自閉症啓発デー・日本実行委員会が組織され、自閉症をはじめとする発達障害について、広く啓発する活動を行っています。

具体的には、毎年、世界自閉症啓発デーの4月2日から8日を発達障害啓発週間として、シンポジウムの開催やランドマークのブルーライトアップ等の活動を行っています。

自閉症をはじめとする発達障害について知っていただくこと、理解をしていただくことは、発達障害のある人だけでなく、誰もが幸せに暮らすことができる社会の実現につながるものと考えております。

世界自閉症啓発デー 日本実行委員会公式サイト

<http://www.worldautism-awarenessday.jp/>

三重県自閉症協会

<http://www.ztv.ne.jp/tbatuhk3/miejihai/>